あすも

区社協からのお知らせ

□事務局体制が強化されました

今年4月から各区社会福祉協議会に事務局次長1名、職員2名の計3名が増員されました。

鶴見区にも、ベテランの次長、新人2名が配属され、事務局長以下総勢6名となりました。

□団体事務が移管されました

これまで区役所で行っていた福祉関係団体の事務が今年4月（各団体の総会を目安に）から区社会福祉協議会に移管されました。

移管された福祉関係8団体は次のとおりです。

- 神奈川県共同募金会鶴見区支会
- 鶴見区赤十字運動推進委員会
- 鶴見区赤十字奉仕団委員会
- 神奈川県保護観察協会
  鶴見区支部
- 社会を明るくする運動
  鶴見区実施委員会
- 鶴見保護司会
- 鶴見区遺族会
- 鶴見区更生保護婦人会

今年度は区役所の支援を十分にいただきながら、はじめての事務に懸命に取り組んでまいります。

□事務所が移転します

1面の記事のとおり鶴見区に福祉保健活動拠点が設置され、区社会福祉協議会の事務所が入ることになりました。

福祉保健活動拠点のオープンは10月下旬の予定ですが、準備の関係もあり、一足先に移転し、新事務所での仕事を8月30日より開始します。

当分の間は、何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、ご了承くださいますようお願いします。

【新住所】
鶴見中央4丁目32番1号
UNEXビル5階
TEL 045（504）5619
FAX 045（504）5616
電話番号は従来どおりです。

第二回〝つるみ福祉ボランティアフォーラム〟を開催します。

鶴見区内で活動しているボランティアの情報交換や交流を図り、連携・連帯を深め、ボランティア活動をよりいっそう活発にすることを目的として、〝ボランティアフォーラム〟を11月26日（金）午後に開催します。

実行委員会で内容について検討していますので、詳細が決まりしだい、広報等でお知らせします。

奮ってのご参加をお待ちしております。

善意の寄付をありがとうございました。

平成11年1月1日～平成11年6月30日　（　）内は寄付回数です。

金銭をお寄せいただいた方々

鈴木　利雄様　阿佐　貞太郎様(5)
工藤　高之祐様(6)岩堀　敏恵様
安井　松朗様　白　蓉子様(6)
越智　史人様　三須　洋子様(6)
亀山　實様(2)　樋高　禮子様
小野　梅子様　貴田　米吉様(2)
河西　英彦様　竹村　タカ様(3)
横山　隆子様　中川　きよの様(2)
小野　芳太郎様　照本　禎様
中村　国政様　五神　嘉子様(2)
米山　マツ様　小嶋　七郎様(2)
岩崎　達雄様・和男様
酒井　忠政様・美代子様
大西　ヨシ様　戸井田　啓治様
股野　藍子様　高橋　一義様
平井　洵子様
旭硝子労働組合京浜支部様
旭硝子労働組合本社支部様
旭硝子労働組合本部様
株式会社　サカエ様
株式会社エヌケーネット女性有志様
ニューツルミゴルフ練習場様
金光教生麦教会様
鶴見区自治連合会婦人部様
横浜鶴見西ライオンズクラブ様
鶴見区民踊愛好会様
社団法人日本盆栽協会横浜東支部様
矢向社交ダンスグループ様
－KAW・JAPAN様
矢向フリーマーケット様
鶴見懇話会様
株式会社ティー・ピー・エス様
潮田地区センターをかこむ会様
土屋塗装株式会社様
鶴見中央地区社会福祉協議会様
寺尾センター様
鶴見区聴覚障害者協会様
横浜鶴見ライオネスクラブ様
新日本自動車学校様
静和会様
横浜市生麦地区センター様
匿名

物品をお寄せいただいた方々

簡　照子様　石井　洋子様
松元　貞子様(2)　高木　潤様
加藤　郁子様　鈴木　辰三郎様
小野　梅子様　南舘　和美様
山本　勝也様　宮武　幸子様
藤澤　弘様　平井　洵子様
吉兆グループ様(4)
静和会様
手話サークルあいうえお様(5)
横浜鶴見ライオネスクラブ様
久保田行政書士事務所様
潮田東部青少年指導委員様
財団法人郵政弘済会関東地方本部様
社団法人横浜市薬剤師会様

福祉つるみ

第32号　平成11年9月1日発行

編集・発行　社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
TEL.504-5619
FAX.504-5616
印　刷　朝日オフセット印刷株式会社

題字：横井　久運氏

本紙は自治会・町内会のご協力で全世帯に配布しています。

サマーフレンド'99



この夏、障害のある学齢期の子どもたちを対象にボランティアとともに楽しく過ごそうとサマーフレンド事業（余暇活動支援）を実施しました。二日目は焼きそばをつくりました。

"福祉保健活動拠点"オープン

少子高齢化、核家族化、更には女性の社会進出等から、近年家族における介護力は低下しておりますが、一方では住み慣れた地域で家族や隣人に囲まれ、安心して在宅で生活し続けたいという強い願望を持つ高齢者も増えております。

この願望に応えるためには福祉・保健・医療の一体的なサービス提供と地域での支え合いが不可欠なものといえます。

このようなことから横浜市では、地域で必要なサービスを適切に提供できる地域ケアシステムづくりを推進しており、その中でも、地域で多方面にわたって活躍しているボランティア活動への支援については、特に意を注いでおります。

そして、その活動拠点となる「福祉保健活動拠点」の確保は急務のこととともに、現在全区展開にむけ努力を重ねているところです。

わが鶴見区においては、この福祉保健活動拠点をJR「鶴見駅」東口と京浜急行「鶴見駅」から歩いて約2分の所にある民間ビルの5階・6階のフロアを借り上げて、本年10月開所する予定となっております。

この福祉保健活動拠点には、団体交流室、多目的研修室、対面朗読室・編集室、録音室、点字製作室などのほかこの拠点の管理・運営にあたる区社会福祉協議会事務室などがあります。

【団体交流室】

団体などの事務局機能のためのスペースで、連絡・打合わせ、経理、広報など団体の事務を行うためのスペースがあります。ただし、特定の団体の専用使用は認められません。団体毎にロッカーを用意し、固有備品等はロッカーに収納し、活動するときに取り出して使用します。

【多目的研修室】

80人程度までの研修、講座等を開催できます。空いている時は、会議室としても使用できます。

【対面朗読室・編集室】

視覚障害者に対し、朗読サービスを提供します。録音、ダビングなどもできます。空いている時は小会議室としても利用できます。

【録音室】

視覚障害者のための録音テープの吹き込みができます。

【点字製作室】

視覚障害者のための点字印刷物の作成ができます。またパソコンによる点字打ち出しも可能です。

開館は、午前9時から午後9時までとし、休館日は年末年始のみとします。

開館後は区内のボランティア活動の拠点として、有効に機能するよう関係する皆さん方の積極的なかかわりが期待されています。

所在地　鶴見中央4丁目32番1号
UNEX（アネックス）ビル5～6階



承認鶴見区第18号

地区社協活動紹介

潮見橋地区社会福祉協議会
会長　椎橋　陸男

私どもの地区社協は鶴見川の下流に架かる臨港鶴見川橋から潮見橋までの東側に位置し、四町会で組織され、世帯数約2,160世帯の地域です。

発足当初の地区社協の事業は、ほとんど地区連合会の行事に対し、協賛のかたちで実施してきました。

しかし、地区社協には市・区社協より活動運営費その他の各種助成金の交付もあり、財源も少しずつ確保されてきて、いつまでも連合会に頼ることなく独自の事業を行うべく活動を展開しました。

平成二年、連合会主催の体育祭に老人席を設け地区内のお年寄りを招待し、お弁当や湯茶で接待し、また、競技にも参加いただき、親睦を深め秋の一日を楽しく過ごしてもらっています。（現在約150名参加）

平成四年、潮田神社祭礼に一人暮らしのお年寄りに赤飯の折詰を配布し、楽しいお祭りを味わってもらっています。

また、年末助け合いの一環としてお餅を配布し、明るく元気で新年をお迎えできますよう祈念しています。（約90名に配布）

平成五年からは「お年寄りのお友達づくり」を目的として食事会を実施しています。ふだん家に閉じこもりがちなお年寄りをはじめ、一人暮らしの方、障害者の方々をお招きして、会食・ゲーム・健康体操にと楽しく過ごしてもらっています。

当初は年四回で町会婦人部の協力で行いましたが、現在は食事ボランティアの支援で年九回、毎回50名の参加をいただき、お年寄りの方々からたいへん感謝されています。

平成七年、下野谷小学校のご厚意により、学区九町会のお年寄りと児童との「ふれあい給食会」も年一回秋に行っています。（50名参加）





平成十年、「キッチン403」の協力をいただき、配食サービスを始めました

まずお弁当づくりのボランティアの募集を行い、保健所から保健衛生、調理等についての講習を受けた後に、実習に入り、試食を繰り返し、やっと食べてもらえる弁当が出来上がりました。

配食は約30食で毎週水曜日の夕食を、男性3人、女性1人で配っていますが、その女性の方が明治生命の職員で、愛の声かけ、配食運動のボランティアに参加されており、今回の「キッチン403」の配食サービスの活動を明治生命に申請し、「地域福祉のいっそうのご発展を祈って」として助成金の寄贈をいただきました。配食サービス基金として運用させていただいています。

また、福祉講座は平成七年より毎年二回から三回実施をしています。

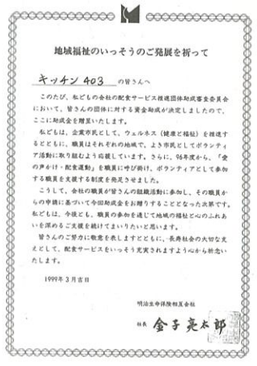
このように地区社協の活動について紹介しましたが、事業を行うには、地区民児協、地区連合会との緊密な協力がなければなりません。

今後も、よりいっそう連帯を深め社会福祉の発展のため努力してまいります。

企業ボランティアの紹介

鶴見区内で多くの企業ボランティアが活躍されています。

活躍されている企業ボランティアのいくつかについてご紹介します。


地域福祉のいっそうのご発展を祈って

キッチン403 の皆さんへ

このたび、私どもの会社の配食サービス推進団体助成審査会委員会において、皆さんの団体に対する資金助成が決定しましたので、ここに助成金を贈呈いたします。

私どもは、企業市民として、ウェルネス（健康と福祉）を推進するとともに、職員はそれぞれの地域で、よき市民としてボランティア活動に取り組むよう奨励しています。さらに、当然ながら、「愛の声かけ・配食運動」を職員に呼び掛け、ボランティアとして参加する職員を支援する制度を確立させました。

こうして、会社の職員が皆さんの組織活動に参加し、その職員からの申請に基づいて今回助成金をお贈りすることになった次第です。私どもは、今後とも、職員の参加を通じて地域の福祉ニーズのふれあう活動の支援に努力してまいりたいと思います。

皆さんのご努力に敬意を表しますとともに、長寿社会の大切な支えとして、配食サービスがいっそう充実されますようにお祈りいたします。

1999年3月吉日

明治生命保険相互会社
社長　金子亮太郎

キリンビール（株）横浜工場

●鶴見区障害児者団体連合会が毎年3月中旬に実施しているバスハイクに、企業ボランティアを派遣し、行事を応援しています。（10年6名、11年7名派遣）

●平成10年12月15日㈫に鶴見区内の障害児・者（付添含む。）50名がキリンビールのクリスマス会（工場見学と昼食会）に招待され、楽しいひとときを過ごしました。

旭硝子（株）京浜工場労働組合

●鶴見区障害児者団体連合会が毎年11月上旬に実施している「ふれあい運動会」にボランティアとして参加し応援しています。（10年8名参加）

横浜東部地区連合

●鶴見区内の障害児・者（付添含む。）約380名を毎年12月中旬に、鶴見会館・青少年センター体育館で行う「年末福祉もちつき大会」に招待し、ふれあいの場を設けています。

鶴見塗装協同組合

●毎年鶴見区内の福祉施設1～2カ所を選び、塗装ボランティアを行っております。

東芝労働組合京浜事業所支部

●ひよこ会（知的障害児者親の会）が毎週土曜日にプール（温水）で実施する水泳指導に介助ボランティアとして昭和57年から毎回2～3名が参加しています。

また、クリスマス会等の行事にも介助ボランティアとして10数名が参加しております。

国際高齢者年を迎えて〝すべての世代のための社会をめざして〟

わが国も高齢社会の到来が、現実の課題となり、私たちの生活に変化を与えようとしています。新世紀を迎えるにあたり、私たちの社会福祉制度が、大きく改革されようとしています。そのなかでも、公的介護保険の導入は、戦後日本の社会福祉理念に馴染んできました私たちに、安心感と期待感を与えている一方、不安感もつのらせています。

今年は、国連の提唱する『国際高齢者年』です。この運動は、国連が1990年「十月一日を『国連高齢者の日』」と制定し、1992年に「高齢化に関する宣言」を採択しました。そして1992年の国連総会で「1999年を国連高齢者年」と定めました。テーマは「すべての世代のための社会をめざして」となっています。このテーマの基になっていますのは、1995年3月に、コペンハーゲンで開催された世界社会開発サミット（参加117国）での「万人のための社会」という概念から発生しています。では、具体的に、どのような運動理念が提唱されているのかをご紹介しましょう。

国連の提示している五つの原則は「自立」「参加」「保護（ケア）」「自己実現」「尊厳」です。

「自立」は、退職後も適切な教育や職業的訓練に参加する機会が与えられることや、生活の安全が保障され自らの努力と意識のなかで自立可能な社会が求められていることです。

「参加」は、社会の一員として、世を捨てるのではなく、自己に直接影響が及ぶ政治的な参加や、自らの意思で社会に参加し、社会の構成員として貢献すべきであるとしています

「保護（ケア）」は、身体的・精神的に老いる過程で、必要な公的サービスや家族、あるいは地域社会からの介護と保護が受けられることが求められています。

「自己実現」は、自己の可能性を十分に果たすために、文化的・精神的・趣味的資源が活用できることが大切であると考えています。

「尊厳」は、高齢者が社会から邪魔物扱いされたり、虐待や差別を受けることなく、性別・障碍・民族的背景等にかかわらず人権が尊重される社会を求めています。

この『国際高齢者年』を機会に、高齢化する社会の構成員である高齢者が、もう一度市民の一人として、社会にどのような貢献ができるかを問う運動であると受け取ることができます。

そのためには、健康で、自己の生活（身体的・精神的にも）の基盤を支える地域社会と上手にかかわることが望まれています。また、高齢者が他の世代や異なる価値観を持つ人々と積極的に交流し、すべての世代が協力し、新しい世紀を創造することが目標なのです。

（横浜地域人材開発協会代表　齋藤文人氏）

ボランティアコーナー

◇「ひよこ会」でボランティア募集

今回はしなやかでバイタリティーあふれるお母さんたちが活動している〝ひよこ会〟が募集しているボランティアについてお知らせします。

〝ひよこ会〟は27年前から《地域とともに生きる》を目標に、知的障害児・者のより幸せな生活を実現するため、協力者（ボランティア）の協力をえて活動してきました。

現在も、各種の訓練活動、余暇活動、宿泊訓練、クリスマス会等の季節の行事などさまざまな活動を行っています。

ボランティア募集内容

☆保育部のボランティア

入園前の2～4才の幼児が、基本的な生活習慣を身につけ、外遊びを通して体力をつけることを目標として活動しています。フォークダンス、遊び、公園への散歩を一緒にしてくださる方。

毎週月・水・金曜日10時～13時30分

☆水泳グループのボランティア

水の好きな元気な子ども達の着替え、シャワー、プールでの介助をしてくださる方

毎週月曜日15時00分～17時00分

毎週土曜日14時30分～16時30分

☆絵画グループのボランティア

子ども達が自由に作品を描き、こころから湧き出る創作意欲を表現する場所です。一緒に遊んでくれる方

第2・4土曜日（図画工作）10時～12時

第2・4日曜日（油　絵）10時～12時

☆ゼリービーンズ（余暇活動）のボランティア

余暇活動を通して体験の幅や人とのかかわりを増やしたい。一緒に遊びに出かけてくれる方

月1回　日曜日

知的障害のある子ども達のことを地域の多くの人に知ってもらいたいと思っています。

ご協力いただける方、詳しいことはつぎにお問い合わせください。

連絡先
ひよこ会（根岸）
585-2078
鶴見区社会福祉協議会
504-5619



サルビア

今年も防災の日が近づいてきました。私は地域防災拠点・避難所運営員です。災害は、忘れた頃に来ると言われています。横浜市では大きな災害に備えて、各消防出張所に地震震度計を設置し、市立小・中学校を地域防災拠点とし、備蓄食料・防災資機材等約40品目を備え付けています。

災害を最小限に食い止めるためには、我々地域住民が各避難所で防災資材を利用した訓練に参加し協力することです。

阪神・淡路大地震を経験された方のお話によりますと、倒壊した家屋が非常に多く下敷きになられた方のなかには高齢者の世帯・ひとり暮らしの世帯が多かったと聞きました。

そこで、私ども役員は声を大にして、隣近所とのつきあいが大事ではないか、挨拶ていどでよいと思います。避難のおりに「隣のおじさん・おばさんが見えないね。」のひと言で、早く発見・救出されたと聞きましたので、ぜひ、日頃実行していただきたいと思います。

また、これが一声運動になれば、明るく、住みよい鶴見の街づくりにもなるのではないでしょうか。

（高田　幸雄）

平成10年度鶴見区社会福祉協議会事業報告

平成10年度は，鶴見区地域福祉活動計画の実施計画に基づいて，重点目標として次の事業を実施しました。①ボランティア活動の活性化。②ボランティアセンター機能の充実。③送迎サービス事業の実施。④ホームヘルパー養成研修（３級課程）の実施。　以下，区社会福祉協議会の重点・新規事業を中心に平成10年度事業の概要を紹介します。

地区社協[illegible]の充実強化と支援

地区社協で開催する高齢者会食サービス事業、配食サービス、ミニデイサービス、区民ボランティアの育成、支援を実施しました。

小地域活動拠点の支援として、高齢者会食サービス用の備品整備を2地区社協について行いました。

地域ケア推進・海側ふれあいネットワーク委員会活動の支援を区役所、潮田地域ケアプラザと協働で実施しました。

地域で行う各種の行事や事業57件に出席し、地域住民の福祉理解と促進を図りました。

福祉理解のための広報啓発活動

11年2月6日鶴見公会堂ホールで、第17回鶴見区社会福祉大会を開催しました。この大会で区内の福祉功労者の顕彰と講演を行い、地域住民の福祉の意識啓発を図りました。

地区社協が地域住民を対象に福祉啓発事業として行った講座で、地域の在宅福祉活動の充実のため区役所福祉保健サービス課、保健所と協働で講演・説明会等を9地区で福祉保健講座として実施しました。

福祉広報活動として、「福祉つるみ」を2回発行し、区民の福祉理解促進を目的として自治会・町内会を通じて全戸配布を行いました。

「区社協だより」を5回発行し、区社協の事業計画・予算、賛助会費の募集、事業報告、年末たすけあい募金、善意銀行の配分の報告等を行い、区民の福祉理解[illegible]を図るため、自治会・町内会を通じて回覧しました。

その他、区社協パンフレット等の配布等により、広報啓発を行いました。

福祉啓発講座等の開催

地域ケアサービス推進事業との共催事業としてボランティアフォーラム、地域ケア普及啓発・福祉機器展、地域ケア事例発表、講演会等を開催しました。

在宅障害者の通院・社会参加活動等のため車椅子を貸し出しました。

潮田地域ケアプラザを拠点とした地域ケア推進・海側ふれあいネットワーク地区各種事業の支援・助成を実施しました。

ボランティア活動推進事業

ボランティア研修会は、区社協で実施するほか地域団体・グループ等の研修会、講演会等を支援しました。

主なものとしては、この夏、本気でボランティア'98、知的障害児理解のためのボランティア講座、学校の福祉講座、リハビリ教室ボランティア講座等です。

ボランティア及び地域福祉団体の活動拠点として鶴見区地域福祉団体交流センターを確保し地域に密着したボランティア活動の育成助成を行いました。

ホームヘルパー養成研修（3級課程）を2回実施し、鶴見区における在宅福祉サービスの充実と地域に密着したホームヘルプ活動の展開を図るよう努めました。ホームヘルパー養成研修修了生施設研修は、横浜市総合リハビリテーションセンター・障害者スポーツ文化センター横浜ラポールを見学しました。

送迎サービス事業については、原則として鶴見区内に居住する高齢者や障害者等で通常の交通手段での移動が困難な方を対象に、福祉保健医療サービス等の利用または社会的活動のための外出を支援し、福祉の向上を図ることを目的として、ボランティアサークル鶴の恩返しトランスポート部を協力団体として実施しました。

ハマの大魔神号とＮＨＫ歳末たすけあいの車両を含め5台で実施しています。

ボランティアデーターベースの作成については、ＯＡ機器によるプログラムが完成し、平成10年度から稼働しました。

当事者活動の支援と連携の強化

障害児者福祉事業としては、障害児者団体の連携の強化及び自立促進を図るため援助・協力を行い、同連合会を通じて加盟26団体に対して助成を行いました。

障害児者団体連合会が実施する事業に対し援助・助成を行いました。

主なものは、福祉青空バザー、ふれあい運動会、鶴見区民文化祭「障害児者作品展」、鶴見区民文化祭協

賛バザー、障害者の日街頭キャンペーン、年末福祉もちつき大会、障害児者団体バスハイク等です。

高齢者福祉事業としては、地域敬老事業助成として、敬老月間（9月）の各地区行事に対して支援しました。

高齢者会食・配食実施団体助成として13地区社協3団体に助成しました。

ねたきり高齢者等の介護者の日頃の心身の労苦を軽減しリフレッシュを図るための行事を区役所・ボランティアの協力により実施しました。

児童福祉事業としては、学童保育事業助成を11団体に行いました。

親子美術展に助成した他、母子家庭児童・交通遺児家庭児童（小学生）を対象に夏休みを利用し、青少年指導員の協力により親子の交流と自然とふれあうことを目的にサマーデイキャンプを実施しました。

児童と高齢者の交流事業として、児童と地域の高齢者が食事（給食）を共にしながら交流することにより、高齢者を理解し思いやりの心を学ぶことを目的に実施した地区（9地区）に助成しました。

福祉ニーズの把握と福祉情報の提供

福祉総合相談は、地域福祉団体交流センターにおいて、弁護士・民生委員により月2回実施しました。

福祉ニーズの把握のため、地域高齢者食事サービス活動アンケート調査を実施しました。

平成10年度一般会計決算

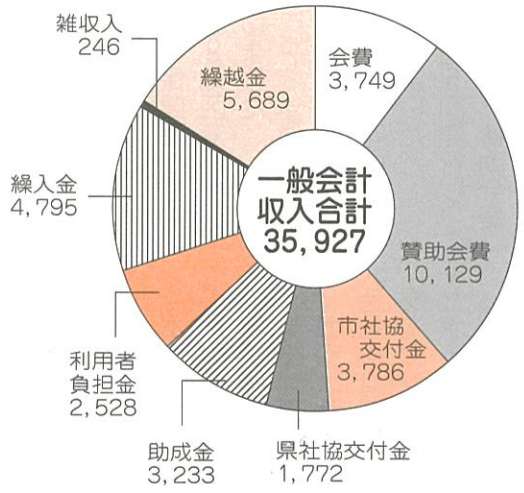
収入支出決算総括表

（単位：円）

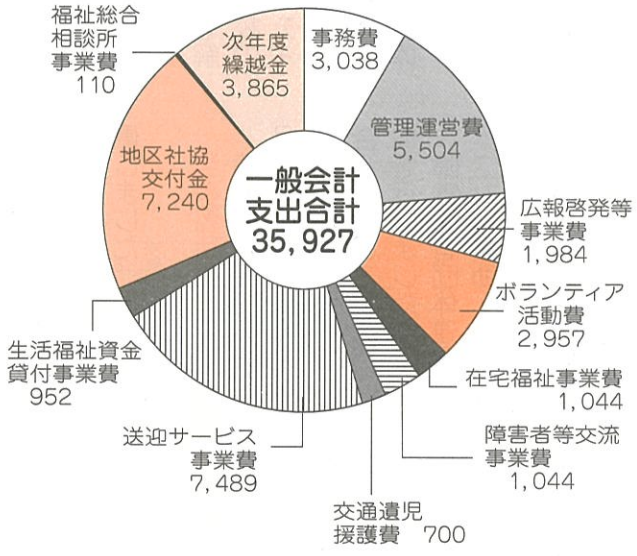
会計名	収入決算額	支出決算額	差引額	備考
一般会計	35,927,036	32,062,408	3,864,628	
共同募金配分金特別会計	16,874,429	15,236,455	1,637,974	
善意銀行特別会計	26,946,419	26,946,419	0	積立金 14,668,619
福祉基金特別会計	5,897,815	5,897,815	0	積立金 116,960,567 繰越積立金 556,845
福祉総合相談所特別会計	1,415,618	912,929	502,689	
合計	87,061,317	81,056,026	6,005,291	

（単位：千円）

〔収　入〕



〔支　出〕



総合貸借対照表

（単位：円）

資産の部		負債・純財産の部	
流動資産	138,740,350	流動負債	549,028
預金	136,684,420	未払金	549,028
未収金	2,055,930		
		基金	9,551,018
固定資産	9,551,018	基本財産基金	3,000,000
基本財産	3,000,000	運用財産基金	6,551,018
運用財産	6,551,018		
		積立金	132,186,031
		繰越金	6,005,291
合計	148,291,368	合計	148,291,368